＜定例会の主な議題及び要旨＞　　令和６月１２月１９日（木）

【協議事項】

１　警察職員の特別派遣について

（警備部）

警察本部から「重要防護施設の警戒警備に万全を期すため、沖縄県公安委員会から本県公安委員会に対し、警察職員の援助の要求がなされたことから、御審議をお願いする。」旨の説明があった。

公安委員から「派遣期間や時期は、どのように設定されているのか。」旨の発言があり、警察本部から「本件の派遣期間や時期は、警察庁が関係都道府県と調整し設定している。」旨の説明があった。

公安委員から「現在、インフルエンザが流行しているが、派遣される警察職員への予防接種や健康管理は行っているのか。」旨の発言があり、警察本部から「予防接種を受けるかどうかは本人の意思に任せているが、派遣前に体調不良が判明した場合は代替員で対応するなど、しっかり健康管理を行いながら適切な措置を講じている。」旨の説明後、本件は了承された。

【報告事項】

１　１２月定例県議会の結果について

（総務部）

警察本部から「１２月定例県議会は、１２月２日に開会し、本日閉会する。本会議における代表質問では、民主県政クラブ県議団から痴漢対策について、公明党県議団から性犯罪被害者支援及び「闇バイト」対策について、新政会県議団からフィッシング等についての質問が行われた。警察委員会では、令和６年度福岡県一般会計補正予算ほか３件についての審査が行われ、いずれも可決されたほか、令和７年福岡県警察運営指針等について説明を行った。」旨の報告があった。

公安委員から「代表質問は社会情勢等を反映したものとなっており、審査議案については無事可決されたということで安心している。」旨の発言があった。

２　受験期における痴漢事犯対策の推進について

（生活安全部）

警察本部から「近年の受験期においては、受験に遅刻できないという受験生の心理につけ込んで、ＳＮＳ上で「痴漢まつり」などと痴漢行為をあおり、唆す書き

込みが行われ、受験生に不安を与える状況にあることから、痴漢事犯の撲滅に向けた各種対策を推進する。期間中は、広報啓発活動の推進、警戒の強化、ＳＮＳ上の書き込みへの対策及び受験生の事情に配慮した対応を推進するとともに、鉄道事業者や学生ボランティア等と協働した痴漢撲滅キャンペーン等の取組を予定している。」旨の報告があった。

公安委員から「ＳＮＳ上の書き込みは、「＃痴漢まつり」などの具体性がない内容なのか。」旨の発言があり、警察本部から「ＳＮＳ上の書き込みは、「今日は痴漢チャンスデーです。」などの具体性がなく、短いものが多く見られる。」、「個別具体的な犯罪に関する書き込みというよりは、面白半分であおっていると思われる書き込みが散見される。」旨の説明があった。

公安委員から「統計の面からも、受験期に痴漢事犯が増加する傾向にあるのか。」旨の発言があり、警察本部から「痴漢事犯については、被害の潜在化などの問題もあり、時期や数値だけでは計れないところもある。」旨の説明があった。

公安委員から「大切な時期を迎えている若者に対して痴漢行為をし、又それをあおるような書き込みなどをすることは絶対に許されないことである。各種取組を推進して、未然防止に努めてもらいたい。」旨の発言があった。

３　北九州市小倉南区徳力における中学生被害の殺人等事件の発生について

（刑事部）

警察本部から「１２月１４日午後８時２５分ころ、北九州市小倉南区内所在の飲食店において、中学生の男女が刃物様のもので被疑者から刺される殺人事件及び殺人未遂事件が発生した。本件は、子供を狙った残忍な手口による殺人等事件であり、県警察一丸となって一日でも早く被疑者を特定・検挙するため所要の捜査を推進していたところ、本日、北九州市小倉南区居住の男性を逮捕した。」旨の報告があった。

警察本部から「本件の発生を受け、小倉南警察署においては、最大限の制服警察官を投入し、登校時間帯における通学路を中心とした警戒を行っているほか、北九州地区警察署それぞれの管内においても制服警察官による警戒活動を強化している。警察本部からも、毎日パトカーや人員を投入して、小学校や中学校を中心とした警戒活動を行っているほか、航空隊による空からの警戒活動を行うなど、組織を挙げて様々な警戒活動を行っている。また、夜間においては、塾通いの児童等の

ための警戒活動も行っている。」旨の報告があった。

公安委員から「まず、被疑者が捕まって良かったというのが率直な気持ちである。今回の事件を受けて様々な警戒活動を行っているということであるが、被疑者の逮捕後も継続するのか。」旨発言があり、警察本部から「警戒活動は、当面の間継続する。警戒に当たる体制等については今後検討していく。」、「地域住民の中には、まだまだ恐怖心や不安感を持った方がいると思われる。また、学校の冬休みが来週からとなっていることや、模倣犯の可能性等も考慮し、当面の間は警戒活動を継続していきたい。」旨の説明があった。

公安委員から「今回の事件を受けて、犯人を名乗る者が各地に脅迫メールを送るなどしているが、そちらの対応も行っているのか。」旨の発言があり、警察本部から「脅迫メール等についても厳正に対処していく。」旨の説明があった。

４　２管区４県下における広域窃盗事件の捜査終結について

（暴力団対策部）

警察本部から「筑紫野警察署ほか６警察署及び捜査第一課等並びに茨城県警察は、令和５年１２月から令和６年６月までの間、福岡県内、茨城県内等２管区４県下において、主に空き家を対象に侵入し、現金、貴金属等を窃取した広域窃盗事件について、宗像市居住のベトナム国籍の男性ほか３人を逮捕した。捜査の結果、被疑者らによる邸宅侵入、窃盗等事件１５７件、被害総額約４６４万円相当を確認し、捜査を終結した。」旨の報告があった。

公安委員から「被疑者らは、全員ベトナム人なのか。」旨の発言があり、警察本部から「そのとおりである。」旨の説明があった。

公安委員から「被疑者らは、何の資格で入国しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「技能実習生として入国し、期間が経過した後も不法に滞在していた。」旨の説明があった。